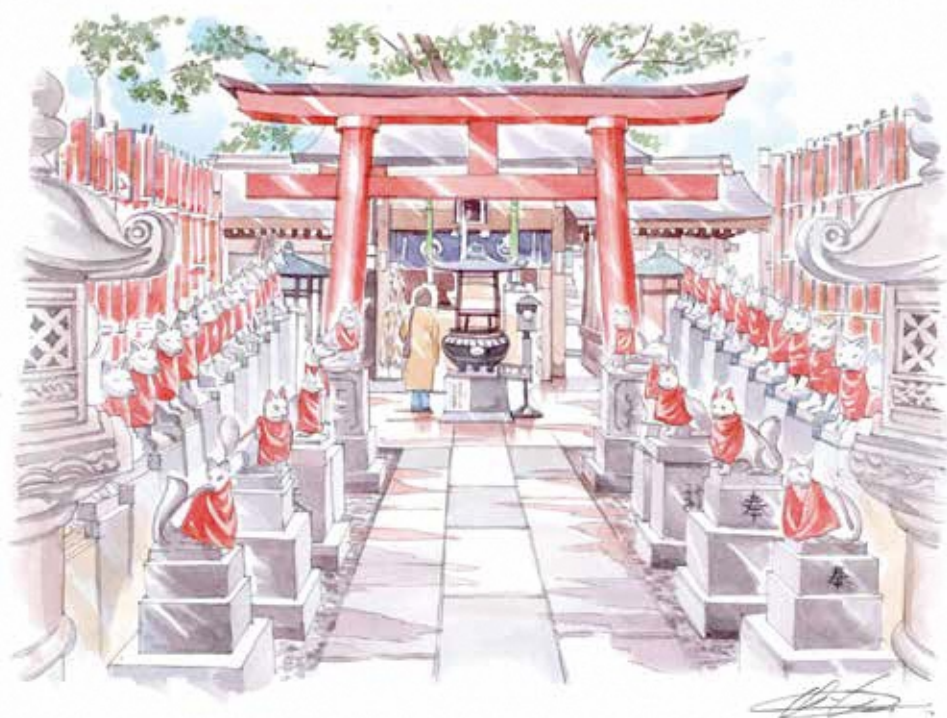


第3章

区のめざす姿



豊川稲荷神社東京別院

赤坂・六本木百景

港区

文化芸術
振興プラン
Minato City
Arts and
Culture
Promotion Plan

1

将来像

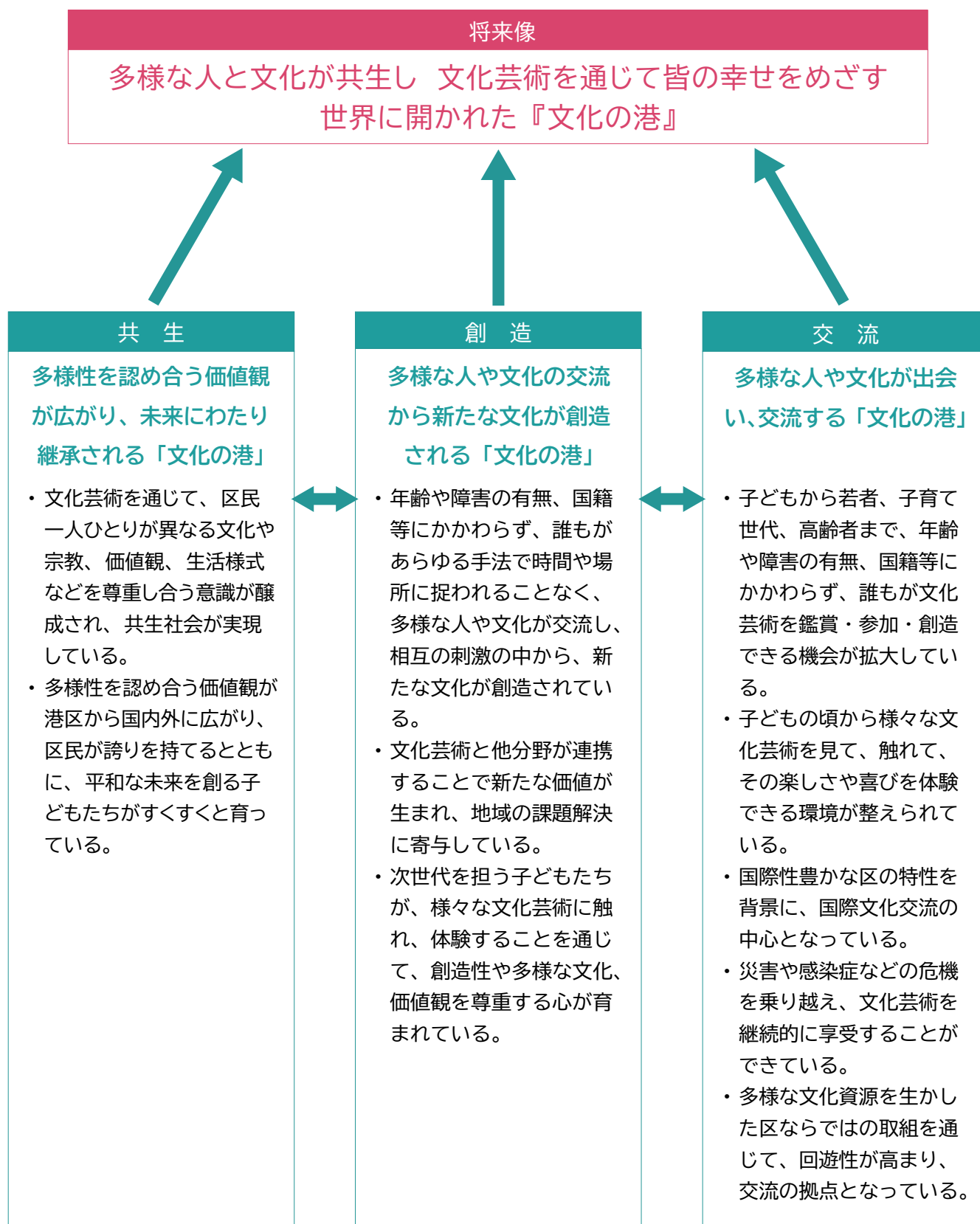
国際性豊かで、多様な文化資源に恵まれ、日頃から多くの人が働き、学び、訪れる地である港区は、多様な人や文化が出会い交流する「港」といえます。

こうした交流の中で多様な人や文化から刺激を受けることで、新たな文化が創造されやすい風土や、お互いの違いを知り、それを認め合う価値観が醸成されます。

「文化の港」とは、文化芸術を通じて、子どもから若者、子育て世代、高齢者まで、年齢や障害の有無、国籍等にかかわらず、区に住み、働き、学び、訪れるあらゆる世代の全ての区民がその多様性を認め合い、誰もが共生できる地域社会が実現され、こうした価値観を国内外に向けて発信する拠点となる場です。

自然災害、感染症や国際対立等の危機が度々訪れる中で、多様な文化や宗教、価値観、生活様式の人々が暮らし、行き交う港区こそ、自分を自由に表現し、お互いを尊重し合う「文化の港」であり続ける努力が必要です。

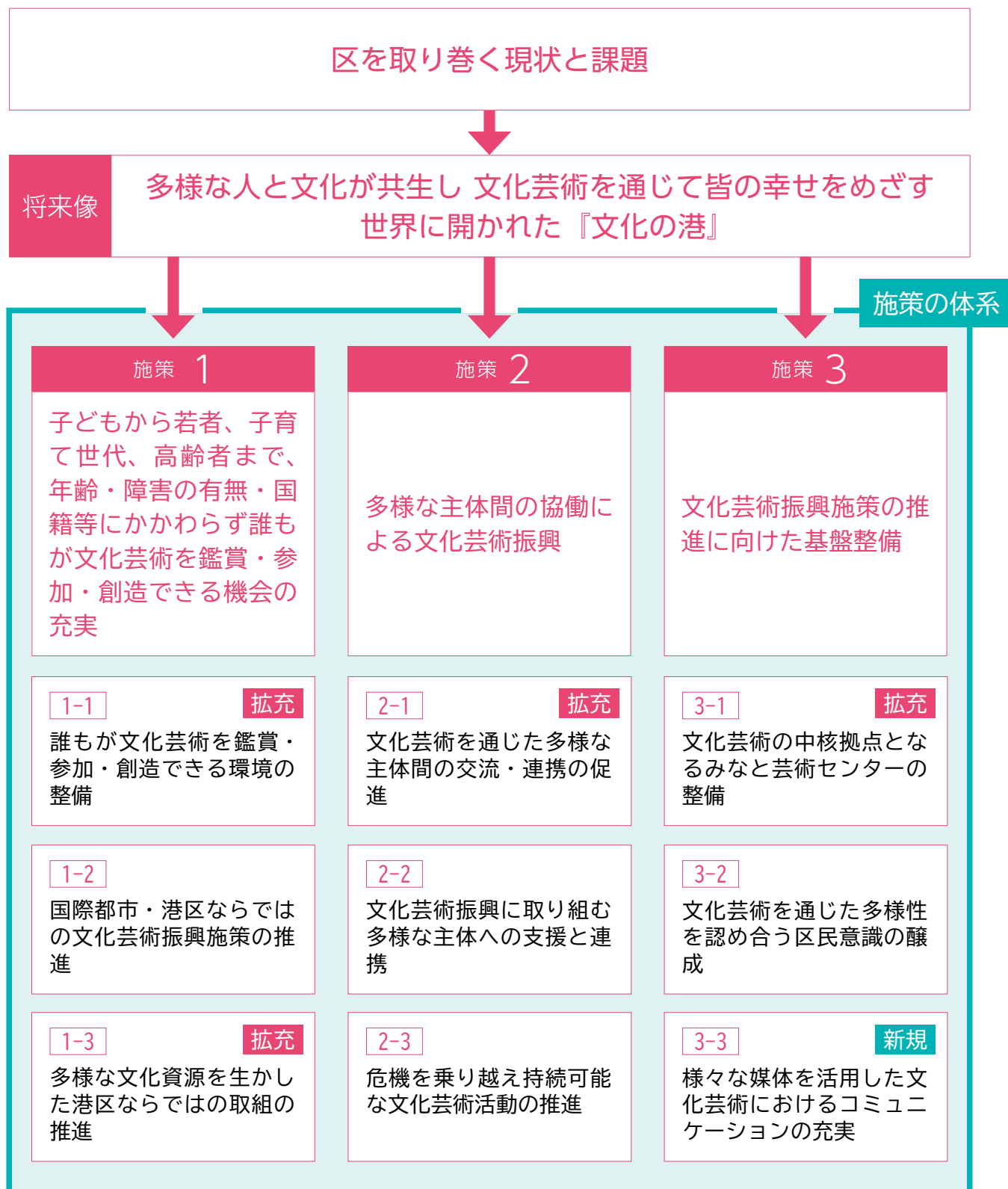
これまで取り組んできた共生社会実現に向けた成果等を、着実に区の文化芸術の中核拠点となるみなと芸術センターの整備等につなげ、文化芸術の愛好家だけではなく、誰もが文化芸術を通じて心豊かで潤いのある生活を送ることができる社会をめざし、本プランにおける将来像を後期（令和 6（2024）年度～令和 8（2026）年度）においても引き続き継承し、「多様な人と文化が共生し 文化芸術を通じて皆の幸せをめざす 世界に開かれた『文化の港』」とします。



2

プランの全体像

将来像の実現に向けて、次のとおり、施策の体系を整理します。



3

将来像の実現に向けた実施体制

将来像の実現に向けて、区、港区スポーツふれあい文化健康財団（以下「Kiss ポート財団」という。）、多様な主体及び区民と一体となって推進していきます。

将 来 像

多様な人と文化が共生し 文化芸術を通じて皆の幸せをめざす
世界に開かれた『文化の港』

区 民

（港区文化芸術振興条例第2条より）

区内に居住し、勤務し、
在学し、又は滞在する者

- ・鑑賞する
- ・出演する
- ・体験する
- ・学ぶ
- ・利用する
- ・協働する など

港 区

観光

教育

子育て

国際化・文化芸術担当※

保健福祉

地域

芝・麻布・赤坂
高輪・芝浦港南

文化芸術振興を推進する
協働のパートナー

多様な主体

Kiss ポート財団
文化芸術団体
文化芸術活動家
美術館、博物館
教育関係機関
大使館
企業 など

※役割

- ・文化芸術振興に係る施策の企画
- ・港区文化芸術振興プランの推進
- ・Kiss ポート財団の文化芸術事業の調整
- ・みなと芸術センターの整備等

